

## ししめん 「獅子面」

- 指 定 千曲市指定有形文化財（彫刻） 昭和 53 年 3 月 24 日
- 所 在 地 千曲市大字八幡字社地 3012-2 武水別神社
- 所 有 者 たけみずわけじんじや  
武水別神社
- 概 要 横型獅子面（上下各一材）  
寸法 上顎 頭部奥行 43.5cm 面幅 38.0cm 高さ 15.0cm  
下顎 奥行 42.0cm 幅 37.0cm 高さ 4.5cm
- 時 代 鎌倉時代と推定。
- 銘 文 等 下顎下面に「信州更級郡、八幡宮獅子、□永二甲卯月上旬。」  
と三行に朱書。造立銘ではなく後の追筆と推定。
- 公 開 社室のため非公開

この獅子頭ししがしらは、一材から彫り出した仏像でいう一木造りいちぼくつくにあたり、古いものです。特に、後世の豎型たてがたの獅子面とは異なり、横型の古いものとして珍しいものです。形成や手法から鎌倉時代のもので、地方ではまれな獅子面です。

武水別神社に古くから伝わったもので、現在は大頭祭だいとうさいの夜練りに伎楽面ぎがくめんとともに使用されています。

